

看護管理 第11巻 総目次

2001年(1-12号)

*表示は、筆者名(発表当時の所属)：題名、号数、ページ。

特集

21世紀における看護制度のあり方を問う(1号)

能條多恵子(富良野看護専門学校)他：[座談会]看護業務の現状と保助看法から看護制度を考える，1，6-13

田中幸子(北里大学看護学部)：保健婦助産婦看護婦法の立法・成立過程—どうして准看護婦制度はつくられたのか，1，14-21

似田貝香門(東京大学大学院新領域創成科学研究科)：新しい法に期待する—社会学の視点から，1，22-26.

羽生田俊(日本医師会)：21世紀の看護のあり方について—日本医師会の立場から，1，27-30.

成澤光(法政大学)：「看護倫理」問題の制度的解決に向けて，1，31-35.

篠崎良勝(民間病院問題研究所)：介護職と看護職の業務の責任と分担—介護現場の実態から，1，36-38.

栢植ついで子：[コラム]ILO条約・勧告の視点から看護制度を見直す，1，39-40.

二交替勤務のいま(2号)

霜貞子(国立金沢病院)他：総合病院で変則二交替制を導入して，2，92-97.

若林稲美(武蔵野赤十字病院)他：三交替制から変則三交替制へ，そして二交替制へ，2，98-103.

太神富士子(川崎整形外科病院)他：看護提供方式の模索から勤務体制を見直して，2，104-109.

新しい時代の新人教育システム(3号)

勢川瑠美子(大阪医科大学附属看護専門学校)：大規模病院における新人研修，3，176-182.

六郷節子(松村総合病院)他：看護カレッジの構想と展開，3，183-188.

川瀬初江(鳥取赤十字病院)他：エルダー支援システム—チームで新人を育てる風土を創る，3，189-195.

永井祐子(株式会社ドキュメンタリージャパン)：市立舞鶴市民病院における医師の臨床研修，3，196-202.

手術室から見える看護の専門性と認定制度へのつながり(4号)

佐藤紀子(東京女子医科大学)：看護の専門性から

認定制度へ—手術看護に関する研究から見えてきたもの，4，256-259.

宮原多枝子(東京女子医科大学病院)：〈日本手術看護学会の活動から〉手術看護の質の向上をめざして，4，260-262.

割石富美子(大分医科大学附属病院)：〈日本手術看護学会の活動から〉手術看護の現状分析—1999年会員実態調査より，4，262-265.

佐藤紀子(東京女子医科大学)他：[座談会]手術室の看護管理と手術看護の専門性，4，266-273.

土蔵愛子(聖母女子短期大学)：手術室における看護の専門性，4，274-277.

久保田由美子(東京女子医科大学病院)：院内認定エキスパートナースの活動—手術看護領域における役割と期待，4，278-281.

企業に学ぶ病院経営(5号)

小野政秀(トヨタ記念病院)他：[インタビュー]トヨタ記念病院は何をめざすのか—企業の論理と医療との融合へ(聞き手・西元勝子)，5，334-344.

西元勝子(固定チームナースング研究所)：[コラム]インタビューを終えて—医療のカスタマーイン実現へ，5，344.

平井さよ子(愛知県立看護大学)：〈トヨタ自動車株式会社の人事改革—愛知県看護大学大学院・特別講義より〉トヨタ方式は看護界に生かせるか，5，345-351.

山田聡子(愛知県立看護大学)：〈トヨタ自動車株式会社の人事改革—愛知県看護大学大学院・特別講義より〉企業の発想が看護の人材育成にどのように結びつけられるのか，5，351-352.

坂之上ひとみ(愛知県立看護大学大学院)：〈トヨタ自動車株式会社の人事改革—愛知県看護大学大学院・特別講義より〉看護現場に目標管理をどう取り入れるか，5，352-353.

大原まゆみ(愛知県立看護大学大学院)：〈トヨタ自動車株式会社の人事改革—愛知県看護大学大学院・特別講義より〉ドラッカーに学び TOYOTA に倣う，5，353-354.

岸由香(愛知県立看護大学)：〈トヨタ自動車株式会社の人事改革—愛知県看護大学大学院・特別講義より〉プロを目指す組織と個人のあり方，5，355.

杉野元子(看護組織開発研究所):企業立病院の挑戦は続く—企業立4病院へのインタビューから学んだこと, 5, 356-359.

医療従事者を針刺し事故から守る(6号)

洪愛子(日本看護協会看護教育・研究センター):針刺し事故予防に向けて—看護職の課題, 6, 416-420.
松田和久(済生会福岡総合病院):針刺し事故報告書EPINet日本版の使い方, 6, 421-426.
木戸内清(名古屋市生活衛生センター):針刺し予防対策と効果の測り方, 6, 427-430, 432
向野賢治(福岡大学病院):針刺し事故後の感染予防策, 6, 432-435.

看護倫理が医療を変える(7号)

布施裕子(群馬県立がんセンター)他:倫理的問題に直面した時の対応—看護倫理検討会の活動から, 7, 494-499.
浅野瑛(静岡赤十字病院)他:看護倫理委員会を立ち上げた看護部の挑戦—静岡赤十字病院看護部の実践報告, 7, 500-507.
小島操子(大阪府立看護大学):[コラム]ビデオ教材を使った看護倫理の現任教育, 7, 508.
吉田千文(千葉大学医学部附属病院):終末期医療における療養の場の移行に伴う倫理的問題, 7, 509-514.
大木桃代(文教大学人間科学部):医療現場における倫理とトランスレーショナル・リサーチ・コーディネーターの試み, 7, 515-520.
嶋森好子(前日本看護協会):リスクマネジメントで問われるこれからの看護倫理, 7, 521-525.
清水哲郎(東北大学大学院文学研究科):看護管理と臨床倫理, 7, 526-530.

ケアの質を支える記録(8号)

坂本すが(NTT東日本関東病院):<記録の電子化が看護に及ぼす影響>標準化に耐える看護情報の再構築, 8, 578-581.
葛西圭子(NTT東日本関東病院):<記録の電子化が看護に及ぼす影響>医療チームが共有する患者記録の導入と看護独自の記録の実践, 8, 582-586.
水沢弘代(札幌麻生脳神経外科病院):視聴覚記録を通して看護の継続を図る—ビデオ添書による看護の引き継ぎ, 8, 587-590.
中島弘二(岡村一心堂病院)他:<カウンターサインシステムによる記録の実践>カウンターサインシステムの理念と進化の方向, 8, 591-593.
松島真巳(岡村一心堂病院)他:<カウンターサインシステムによる記録の実践>看護婦の記録改善

の実践, 8, 593-596.

中島弘二(岡村一心堂病院):<カウンターサインシステムによる記録の実践>他職種からの評価, 8, 597.

隈本博幸(小倉第一病院):POS診療情報認定士制度のねらい, 8, 598-600.

医療連携は看護から(9号)

武藤正樹(国立長野病院):21世紀の医療連携の展望と課題—特に看護連携に着目して, 9, 658-663.
金井昌子(国立長野病院)他:地域医療連携のキーワード—看護連携の実践, 9, 664-668.
二村良子(三重県立看護大学)他:県立病院の地域連携モデル—連携フォーマットによる分析とモデル構築のプロセス, 9, 669-674.
藤井寿恵(済生会山口総合病院):よりよい地域連携へのシステム化—退院調整専門看護婦の役割と課題, 9, 675-680.
野村一俊(国立熊本病院):医療連携にクリティカルパスはなぜ必要か, 9, 681-687.

看護の視点を生かすコーディネーター(10号)

平林明美(横浜市立大学医学部附属病院):院内資源を活用して現場の安全を図る—コーディネーターとしてのリスクマネージャー, 10, 742-747.
小原泉(国立がんセンター東病院):科学性と倫理性の狭間で—治験コーディネーターの役割, 10, 748-753.
渡辺恵(国立国際医療センター):HIV患者が看護職に求めた機能—HIV専任コーディネーターの役割, 10, 754-759.
本道子(東京都立保健科学大学)他:在宅での療養環境を整える—退院調整における看護職の役割, 10, 760-765.
飯塚悦功(東京大学大学院工学系研究科), 渡辺恵:[対談]プロフェッションとして患者本位の医療をめざす, 10, 766-771.

顧客満足が変わる・支える医療と看護(11号)

勝原裕美子(兵庫県立看護大学):看護管理者がもつべき“顧客満足”の視点—企業の発想を看護に生かす, 11, 836-841.
中村静子(高知県・高知市病院組合):2病院統合に向けた看護職員の意識改革—21世紀に求められる看護は職員満足から, 11, 842-847.
星北斗(星総合病院):これからの医療に問われること—病院経営と顧客満足の視点から, 11, 848-853.
伊藤雅教(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社):[インタビュー]病院の差別化のための

“顧客満足”とは一医療コンサルタントの視点から(聞き手・木村憲洋), 11, 854-858.

神前裕(あへの風): <老舗旅館のCS戦略—医療サービスへの示唆として>千客万来から一客再来へ—「個客」の時代へ, 11, 859-862.

和田ちひろ(HCRM研究会): <老舗旅館のCS戦略—医療サービスへの示唆として>真の顧客ニーズ把握と長期的なサービス改善システムを, 11, 862-863.

四方克尚(岡山旭東病院): 患者満足のための「意見箱」が現場を変える, 11, 864-867.

小集団活動による現場の活性化(12号)

杉野元子(看護組織開発研究所): 小集団活動で活性化する現場の知恵, 12, 928-932.

広瀬幸子(青州会神立病院): プロジェクトチームの活用—看護部目標と個人の目標をつなぎ, 中堅を育てる, 12, 933-939.

宮本留美子(取手協同病院): 同年代の交流を生かす—経験年数別横割りグループ制導入の効果, 12, 940-944.

田中菊枝(鳥取赤十字病院)他: チーム活動の成果—鳥取赤十字病院の固定チームナースング, 12, 945-950.

焦点

これからのリスクマネジメント

中島和江(大阪大学大学院医学系研究科): 医療事故を防ぐための院内システムの構築, 2, 111-118.

鮎澤純子(東京海上メディカルサービス株式会社): 次にめざすのは質の高い, 効率のよいリスクマネジメントの実践, 2, 119-124.

社会資源としての患者会

和田ちひろ(杏林大学保健学部)他: 情報化時代における患者コミュニティの可能性, 2, 133-137.

今井俊子(新樹の会): 乳癌体験者による支援活動の現状, 2, 138-142.

医療事故防止の視点を変えよう

山内隆久(北九州市立大学)他: ベッドサイド中心の「患者安全学」, 6, 436-441.

桑野偕紀(日本航空株式会社): パイロットがみた医療界の不思議, 6, 442-444.

病院を強くする ISO 活用法

原洋子(鉄蕉会亀田総合病院): ISO 9001 をツールにした医療の質向上への取り組み, 8, 602-606.

中島幸子(豊田会刈谷総合病院)他: 地域住民に選んでもらう病院をめざして, 8, 607-615.

感染管理によって変わる看護

伊藤道子(岩手県立大学): 看護管理者と現場の相乗効果—感染看護専門看護婦の立場から, 10, 773-776.

福岡ユキ子(盛岡市立病院)他: [座談会]ICN と共に感染管理に取り組んで, 10, 777-783.

稲田裕子(岩手県立沼宮内病院)他: 専門家の活用と現場の成長—感染防止係の立場から, 10, 784-788.

感情労働と看護

石川准(静岡県立大学): 感情労働とは何か, 11, 881-886.

広瀬寛子(戸田中央総合病院)他: [シンポジウム]感情と看護を語る, 11, 887-894.

西村ユミ(日本赤十字看護大学): [コラム]「感情労働と看護」に触発されて, 11, 895.

安全な医療体制の構築に向けて

森功(医真会八尾総合病院): 医療法人医真会のオーディット機構の実践と目的, 12, 952-958.

金子万里子(東海大学病院)他: 医療安全対策の実践—東海大学病院看護部の取り組み, 12, 959-969.

特別論文

多田春江(京都大学大学院)他: 医療の質向上のための条件—看護の質管理に向け新しい枠組みを, 9, 688-692.

特別記事

林千冬(群馬大学医学部保健学科): 看護管理 30 年・公立富岡総合病院・青木孝子の思想と実践—文献に見るこの 15 年, 2, 126-131.

柏崎順子(聖隷沼津病院): 他施設の看護管理実践現場に参加して—認定看護管理者セカンドレベル研修の実習から, 3, 204-207.

中島弘二(岡村一心堂病院): カウンターサインシステムによる診療録—チーム医療確立への挑戦, 3, 208-211.

バイロン アトキンソン(米国プロビデンス病院): プロビデンス病院のリスクマネジメント—スタッフ育成と記録の質向上への実践, 4, 284-289.

リサ M ブラック(米国ネバダ州看護協会): 万全の対策が針刺し事故による職業感染を防ぐ, 5, 360-365.

五十里瑞枝(牧和会牧病院): 主任・副主任の任期制度をとりいれて—厳しいけど, 個人を活かせる看護管理, 6, 452-455.

Jacqueline M Attlesy-Pries(米国メイヨークリニック)他: ケアの質の継続的改善と患者の安全—メイヨークリニックの取り組み, 7, 532-537.

玉利玲子(藤田保健衛生大学病院): 私の求める看護実践と組織改編の試み—管理者自身の実践行動分析にチャレンジして, 8, 618-622.

一戸真子(北海道医療大学)：英国病院のレファレルユニット—クリニカルガバナンスを担う看護，8，624-628.

川渕孝一(東京医科歯科大学大学院)：規制緩和で医療—看護はどう変わっていくのか，9，694-698.

赤林朗(京都大学大学院医学研究科)：日本における倫理委員会のあり方と課題，9，700-703.

川渕孝一(東京医科歯科大学大学院)：医療界と産業界の英知を結集する時代がやってきた—医療経済学者からみた医療事故対策，10，790-795.

山下恵志子(偕行会名古屋共立病院)：看護職を生かす診療科事業部制—急性期民間中小病院の経営改革，10，796-801.

甲斐聖人(済生会熊本病院)：済生会熊本病院における人事制度改革—「病院は非営利組織」という観点から，11，868-873.

戸津崎茂雄(京都南病院)：地域に開かれた病院を目指して—京都南病院の挑戦，11，874-879.

副島秀久(済生会熊本病院)：クリニカルパスにおける記録と情報開示—新たな質の向上をめざして，12，970-978.

相馬一二三(岩手医科大学附属病院)：中堅ナースの潜在能力を引き出す研修—研修のプロセスを重視した病棟間留学の導入，12，980-984.

実践報告

河崎卓枝(鳥取赤十字病院)：看護用具の工夫を看護に生かす，3，212-215.

岡崎愛子(国立病院四国がんセンター)他：乳癌患者に対する詳細な医療情報提供のためのミーティング—「カニさんの会」の試み，7，540-543.

山畠絆(東京都済生会中央病院)他：インシデントレポートの開発とその評価，12，986-990.

研究報告

長澤利枝(静岡県立大学短期大学部)：患者の問題解決へ向けた他職種とのかかわりにおける看護職の発言および行動の特性，1，47-52.

井田まゆみ(労働福祉事業団東京労災病院)他：救急外来における注射実施状況の把握と注射事故予防対策の効果，5，367-370.

小原泉(国立がんセンター東病院)他：治験コーディネーターの業務に関する研究，5，371-375.

廣瀬規代美(群馬県立医療短期大学)他：看護婦の身だしなみに関する研究，6，445-451.

文献レビュー

山中泰子(東京医科歯科大学大学院)他：クライエントの望ましいアウトカムの評価指標—QOL，ADL，精神・心理尺度レビュー，9，704-711.

新田章子(東京医科歯科大学大学院)他：交替制勤務におけるリスクマネジメント—安全な看護環境のための文献的考察，12，991-996.

すごい話!/?／伝えたい話

中島伸(大阪府立中河内救命救急センター)：ワシは鉄砲撃ちじゃ！ 2，143-145.

小笠原望(大野内科)：ぼくのぜいたく，3，234-237.

森津純子(ひまわりクリニック)：私の“課外授業ようこそ先輩”番外編，4，291-293.

大野明子(明日香医院)：「お産の家」でいのちが生まれる，6，458-461.

BOOK MARK

厚生労働省の医療安全対策(石原美和)，9，716-718.

連載 ケアの質とスタッフ配置のための研究

⑥竹谷美穂(厚生中央病院)他：[座談会]米国の「患者分類システム」を日本で試行した結果を見て，1，53-57.

連載 変革期における看護の人的資源計画

①上泉和子(青森県立保健大学)他：人的資源推計モデル研究の概要，1，59-68.

②楠本万里子(日本看護協会)：看護職員需給計画は何を達成したのか，2，146-153.

③Linda O'Brien-Pallas(トロント大学)他：カナダのHealth Human Resourcesの研究その1—Health Human Resources Modelの紹介，3，222-228.

④金井Pak 雅子(東京女子医科大学)他：カナダのHealth Human Resourcesの研究その2—実践研究内容の紹介，4，307-311.

連載 看護の裁判例を読みなおす

小西知世(明治大学大学院)，宮崎歌代子(東京医科大学病院)，平林勝政(國學院大学)：

①点滴静注ミス事件[その1]，4，296-300.

②点滴静注ミス事件[その2]，5，388-393.

③看護婦の静脈注射をめぐる問題—国立鯖江事件を手がかりに，6，468-473.

④高齢者ベッド転落事件[その1]，7，556-560.

⑤高齢者ベッド転落事件[その2]，8，634-639.

⑥(最終回)療養上の世話業務をめぐる一褥瘡裁判を手がかりに，10，808-814.

連載 公立富岡総合病院・青木孝子

—その人と実践

林千冬(群馬大学)：

- ①母親の影響・恩師との出会い, 10, 802-807.
- ②看護学校から群馬大学医学部附属病院へ, 11, 900-905.
- ③若き総婦長・はじめての試練, 12, 998-1003.

連載 ケアギビングのためのリーダーシップ

穀山聰子(愛媛大学医学部看護学科) :

- ①看護の使命とリーダーシップ, 1, 70-73.
- ②看護と組織—成果とマネジメント, 2, 154-157.
- ③ケアギビングとパワー, 3, 229-233.
- ④リーダーの条件—良い仕事をつなげる, 4, 312-315.
- ⑤トップマネジメントのリーダーシップ, 5, 383-387.
- ⑥第一線のリーダーシップ, 6, 463-467.
- ⑦専門性とリーダーシップ, 7, 551-555.
- ⑧組織文化とケアギビング, 8, 629-633.
- ⑨看護とネットワーク, 9, 721-725.
- ⑩ケアギビングと学び, 10, 815-819.
- ⑪看護実践と教育のつながり, 11, 907-911.
- ⑫(最終回)困難とリーダーシップ, 12, 1005-1009.

連載 事例で学ぶ看護管理

—組織行動学的視点の活用

稲田三津子(日本赤十字看護大学)他 :

- ①連載開始にあたって, 4, 301-303.
- ②非効率的な病棟会議の運営, 5, 394-398.
- ③同僚の態度に疑問を抱くナースの行動, 6, 474-477.
- ④病棟におけるナースの役割と動機づけ, 7, 562-565.
- ⑤婦長と主任の意思決定の偏り, 8, 642-645.
- ⑥インフォーマルグループの形成と集団行動, 9, 726-729.
- ⑦婦長とスタッフナースのコミュニケーション, 10, 820-823.
- ⑧夜勤帯でのリーダーシップの混乱, 11, 912-915.
- ⑨婦長とスタッフナースのコンフリクト, 12, 1010-1013.

連載 シネ・プロフィール

片場嘉明(厚生中央病院) :

- ①「レベッカ」の思わぬ伏線“病名告知”, 1, 1.
- ②最期まで女優を貫いたバグマン, 2, 87.
- ③信念の男ボギー, 3, 171.
- ④20世紀に想う2大女優ガルボとディートリヒ, 4, 251.
- ⑤名脇役が演じた訪問看護婦, 5, 329.
- ⑥おとぎ話は終わった, 6, 411.

- ⑦余韻が残る, 7, 489.
- ⑧メロドラマの原点, 8, 573.
- ⑨九月の想い, 9, 653.
- ⑩手術室のゲートル, 10, 737.
- ⑪ヒロインはあの時のまま, 11, 831.
- ⑫アイドルと迎えた静かなクリスマス, 12, 923.

連載 amans 恵道通信

飯島恵道(東昌寺) :

- ①祈り, 1, 74-75.
- ②プラバートナンプー寺見聞録, 2, 160-161.
- ③現場考, 3, 240-241.
- ④時間突破, 4, 320-321.
- ⑤言葉の温度差, 5, 404-405.
- ⑥スピリチュアルケア私論1, 6, 484-485.
- ⑦スピリチュアルケア私論2, 7, 566-567.
- ⑧スピリチュアルケア私論3, 8, 648-649.
- ⑨戯言(たはごと), 9, 732-733.
- ⑩なんにもないけど, おめでとござんして, 10, 824-825.
- ⑪あるがままの姿とあるべき姿, 11, 916-917.
- ⑫清浄光, 12, 1014-1015.

連載 続・白衣のポケット

志水夕里 :

- ①光のもとへ, 1, 76.
- ②精神の高み, 2, 166.
- ③家に帰ろう, 3, 238.
- ④出発, 4, 318.
- ⑤母の死, 子の死, 5, 406.
- ⑥「淋しい」って! 6, 478.
- ⑦ありがたい, 7, 550.
- ⑧もう, やだ! 8, 650.
- ⑨八つ当たり, 9, 720.
- ⑩Tell your name, 10, 826.
- ⑪一言の罪, 11, 906.
- ⑫白鳥の歌, 12, 1004.

連載 私が休日に出会った本

加納佳代子(八千代病院) :

- ①器を作る, 楽しむ, 発見する, 1, 78-79.
- ②ハリー・ポッターに出会った日, 2, 159.
- ③スローフードな暮らし方, 3, 247.
- ④チームと共に育つキャプテン, 4, 327.
- ⑤集って創るワークショップ, 5, 399.
- ⑥インターネットにはまる人々, 6, 479.
- ⑦「わからない」から始めよう, 7, 561.
- ⑧輝いている言葉に出会う, 8, 641.
- ⑨自分を見つめなおすとき, 9, 735.
- ⑩“価値ある存在”を証明する誘惑, 10, 827.
- ⑪ありのままを看取る, 11, 918.

⑫(最終回)目を凝らして耳を澄まして, 12, 997.

連載 見直そう「儀式」「習慣」だらけの感染管理

土井英史(ヘルスケアリソース研究所):

⑦分娩時の防護具着用は誰のため? 1, 82-83.

⑧手術室の微生物対策, 2, 164-165.

⑨消毒・滅菌のツボとピットホールーその1, 3, 244-245.

⑩消毒・滅菌のツボとピットホールーその2, 4, 324-325.

⑪感染性廃棄物の処理は厳格に, 5, 402-403.

⑫(最終回)MRSAは怖くないー療養施設での考え方, 6, 482-483.

連載 Welcome to the 婦長's Theater

加藤光寶(新潟県立看護短期大学):

④叱り上手・誉め上手, 1, 80-81.

⑤婦長の1日は美しい演出で, 2, 162-163.

⑥実践婦長の癒し・関わり入門, 3, 242-243.

⑦勤務表に愛を込めて, 4, 322-323.

⑧新人を温かく迎える, 5, 400-401.

⑨打倒セクシュアルハラスメント, 6, 480-481.

⑩暑中お見舞い申し上げます, 7, 568-569.

⑪患者の手も借りたい, 8, 646-647.

⑫(最終回)看護の質の保証はパスなの? 9, 730-731.

隔月連載 家族のゆくえ

信田さよ子(原宿カウンセリングセンター):

①親も被害者か, 1, 42-45.

②更正か回復か, 3, 218-221.

③駅は酒場ではない, 5, 378-381.

④奴隷になる親, 7, 546-549.

⑤PTSD 離婚の誕生, 9, 712-715.

⑥(最終回)崩壊する価値観, 11, 896-899.

BOOK REVIEW

評者/吉村香代子『2000年に、看護を語るー急い

でしかし着実に責務を果たす時が来た』(草刈淳子他編), 1, 69.

評者/鳴森好子『ヘルスケアリスクマネジメントー医療事故防止から診療記録開示まで』(中島和江他), 1, 77.

評者/杉山良子『書きたくなるヒヤリ・ハット報告ー体験から学ぶ看護事故防止のツボ』(川村治子), 2, 132.

評者/市村久美子『嚥下障害ナーシングーフィジカルアセスメントから嚥下訓練へ』(鎌倉やよい編), 3, 203.

評者/武井麻子『アメリカ医療の光と影ー医療過誤防止からマネジドケアまで』(李啓充), 3, 217.

評者/新野千枝子『対談・私たちの看護管理実践』(住吉蝶子・紙屋克子), 4, 290.

評者/村上美好『ヒューマンエラーの心理学ー医療・交通・原子力事故はなぜ起こるのか』(大山正他編), 5, 377.

評者/金川克子『臨床検査データブック2001-2002』(黒川清他編), 7, 531.

評者/新道幸恵『病院看護の通信簿(レポートカード)』(アメリカ看護婦協会編・菅田勝也他訳), 7, 539.

評者/三木充典『<シリーズ ケアをひらく>感情と看護一人とのかかわりを職業とすることの意味』(武井麻子), 7, 545.

評者/田中幸子『考える看護ーナースのための哲学入門』(ジャン・リード他・原信田実訳), 8, 623.

評者/山崎摩耶『ケアエコノミクスー医療福祉の経済保障』(岡本悦司), 10, 789.

評者/小田清一『統計学入門 第7版』(杉田暉道他), 11, 880.

評者/小出里美『臨床のためのQOL評価ハンドブック』(池上直己他編), 12, 951.